

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成27年度中間）

(ア) 取組実績の評価（1）：事業の実施状況の評価

評価項目

- 1 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
 - (1) 「地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
 - (2) 「つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
 - (3) 「組織運営」にかかる支援の実施状況
 - (4) 「区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向けて、ファシリテーション手法の導入を用いて意見交換を進めていることは評価できる。今後、議論した内容が事業化されるまでの地域支援を期待する。 ・様々な団体と地域をマッチングさせる事により広報紙を発行できたことは、評価できる。全地域での発行に向けて今後の支援に期待したい。 ・組織運営に関わっては、地域が自律できるよう運営委員会等で適切な支援ができており、事業報告・決算等についても必要な支援が為されている。

(イ) 取組実績の評価（2）：事業の実施体制等の評価

評価項目

- 1 自由提案による地域支援の実施状況
- 2 スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
- 3 フォロー（バックアップ）体制等
- 4 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施された「プロボノ」を活用した地域課題解決については、企業等に勤める人材のノウハウを学ぶうえで有効であった。今後も「プロボノ」等を活用する事によって、地活協の活動基盤が強化されるよう支援を期待する。 ・地域からの相談や問い合わせに適切に対応しており、まちづくりセンターの体制については問題ない。 ・自主防災組織による避難所開設訓練・津波避難訓練について、地域と行政との中間支援組織的役割ができています。

(ウ) 取組効果の評価：目標等の達成状況の評価

評価項目

- 1 アンケート調査
- 2 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
 - (1) 「地域課題への取組」の達成状況

(2) 「つながりの拡充」の達成状況

(3) 「組織運営」の達成状況

(4) 「区独自取組」の達成状況

3 その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査では地域の評価も概ね期待どおりであり、これまで地域を支援してきた結果と評価する。 事業のC B. S B化・地域公共人材の活用など、今後区と連携しながら取り組みを進めていくことを期待する。

(エ) 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

1 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	適切な地域特性の課題分析・整理がされている。
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	適切に目標が設定されている。
(3) 区のマネジメントに合った取組	A	適切な取組ができています。

2 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体からの評価も非常に高く、信頼関係が構築されており、地域と行政との中間支援役としてその機能を充分発揮している。 「ファシリテーションの手法」による課題整理や「プロボノ」の活用など、画一的な支援ではなく各地域活動協議会の進捗度合いに併せた地域支援ができています。今後も、広報誌の発行や、地域課題の解決に向けた議論など地域に合わせた支援を期待する。

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない